

12月のイベントカレンダー

1	木	18:30	日本語会話教室 (夜間)
2	金	15:00	理事会
3	土		
4	日		休館日
5	月		休館日
6	火	13:30	日本語サロン
7	水		
8	木		
9	金		
10	土	10:00	ワールドツアー ニュージーランド編
11	日	10:00	子ども日本語ひろば
12	月		休館日
13	火	13:30	日本語サロン
14	水		
15	木		
16	金		
17	土		
18	日		休館日
19	月		休館日
20	火	18:30	幹事会
21	水		
22	木		
23	金		休館日
24	土	13:30	FINE発送作業
25	日		
26	月		休館日
27	火		
28	水		
29	木		年末年始休業
30	金		年末年始休業
31	土		年末年始休業

講演会 世界に誇れる日本の美点

テレビ出演や講演会を通じて多方面で活躍しているルースさんが、日本在住を通して感じたことを豊富な事例を交えてお話しします。入場無料、どなたでも聴講できます。
 日時 12月3日(土) 会場 13:00 開演 13:30
 場所 中島村生涯学習センター 輝ら里(中島村大字滑津字ニツ山)
 講師 ルース・マリー・ジャーマン さん
 主催・申込・問合せ 中島村国際交流協会 TEL 0248-52-2113

福島とルワンダの復興と
子どもの未来のために語り合おう!

教育を考えるトークセッションを開催します。参加費は無料です。
 日時 12月3日(土) 14:00~16:00
 場所 福島市民活動サポートセンター(福島市大町)
 内容 ルワンダから内戦と復興について、福島の先生から震災体験発表、子供の良さや教育の課題についてなど
 主催・申込・問合せ NPO法人ルワンダの教育を考える会
 TEL 024-563-6334 メール info@rwanda-npo.org

日蘭歴史7千講座
~長崎・出島に見るオランダと日本~

オランダと日本の関わりや歴史について、出島の昔と今にふれながら紹介します。定員は20名、定員になり次第締切です。※参加費 500円
 日時 12月14日(水) 13:30~15:00
 場所 総合福祉センター3階研修室(郡山市役所本庁舎北側)
 講師 ヨースト・クラルト さん(オランダ出身)
 主催・申込み・問合せ 郡山市国際交流協会 国際交流サロン
 TEL 024-924-2970

Global Community Café ~世界の言葉を学ぼう!~

ヨーストさんは(公財)福島県国際交流協会が主催するグローバルコミュニティカフェにもゲストスピーカーで登場します。※参加費 100円
 日時 12月17日(土) 10:00~12:00
 場所 (公財)福島県国際交流協会 研修室
 主催・申込み・問合せ (公財)福島県国際交流協会 TEL024-524-1315

(公財)福島県国際交流協会 国際理解出張講座

世界の現状や多様性、国際協力、環境問題などについて体験的に学ぶ講座を皆さんのところに向いて実施します。
 【内容】イスラム教徒の生活について、途上国の女の子の現状について、世界の多様性について、コミュニケーションについてなど全7講座
 【対象】学校、各種団体、企業等(対象年齢:小学校高学年~一般)
 申込み・問合せ (公財)福島県国際交流協会 TEL 024-524-1315
 ■国際理解出張講座のご案内
<http://www.worldvillage.org/rikai/lecture/lecture.html>

お手伝いをお願いします

おしゃべりをしながら、情報紙FINEの発送作業のお手伝い(封づめ、糊付けなど)をしてみませんか。当日直接お越しください(申込不要)。
 日時 12月24日(土)13:30~ (場所:当協会)

会津若松市国際交流協会

〒965-0871 会津若松市栄町2-14
 レオクラブガーデンスクエア5階
 TEL 0242-27-3703 FAX 0242-27-3704
 ホームページ <http://awia.jp>

FINE

Freedom/International/Necessity/Experience

ワールドツアー



ワールドツアー ニュージーランド編
★フライト案内★ 12月10日(土)10:00~11:30



世界各国の文化体験を通じて世界周遊気分を味わうワールドツアー。今年度第4回目のフライトはニュージーランドです。クマラチキンサラダとスコーンを、講師のデヴォンさんと一緒に作ります!「クマラ」とは、ニュージーランドの先住民、マオリ族の言葉で「さつまいも」の意味なんだそうです。どんなチキンサラダが出来上がるでしょうか。スコーン作りも楽しみ!ぜひご参加ください!

場所 会津稽古堂1階 キッキングスタジオ
 ツアーコンダクター デヴォン グレイ さん
 (ニュージーランド出身)
 内容 ニュージーランドの料理作り
 参加料 会員 1,000円 一般 1,500円
 定員 15名
 申込み 12月9日(金)まで当協会へ

年末年始

年末年始休業のお知らせ

当協会事務局は、12月29日(木)~1月3日(火)まで、年末年始のため休館となります。新年は1月4日(水)から平常通り(9:00~17:45)開館します。来年もどうぞよろしくお願い致します。
 ★「日本語サロン」は、12月20日、27日(火)はお休み、新年は1月17日(火)からスタートします。
 ★「子ども日本語ひろば」は、12月25日(日)はお休み、新年は1月8日(日)からスタートします。

図書コーナー

寒くて外に出たくない季節がやってきました。今年の冬はゆっくり読書を楽しみませんか。会員の方は当協会の図書コーナーを無料でご利用いただけます。国際理解に関する本や洋書、日本語学習関連図書、海外旅行に役立つ会話本などがあります。お探しの本があればお気軽にスタッフにお声かけください。
 ★ジャンルごとに整理されています。
 ★貸出期間は2週間です。
 ★貸出は会員の方に限ります。
 ~ぜひご利用ください!~

【最近寄贈された図書】

「残しておきたい大熊のはなし」著者:鎌田清衛
 「越境と連動の日系移民教育史」編著者:根川幸男、井上章一



FM会津

地球まるっとてれぼーと
 ※毎週木曜日 18:20~18:25
 ハロー! Aizu
 ※毎週火曜日 18:30~18:35
 ※毎週金曜日(再) 8:20~8:25
 FM会津 76.2MHz

当協会では、FM会津の番組「イブニング愛's」で放送されている「地球まるっとてれぼーと」と「ハロー! AIZU」のコーナーを担当しています。「地球まるっとてれぼーと」では、当協会の会員の方々をゲストに迎え、世界にまつわるさまざまなお話を伺います。「ハロー! AIZU」では、当協会国際交流員のマガレット・ブライスが市内のイベント情報などを英語で発信するだけでなく、時には英会話のワンポイントレッスンなどもあります。英語のリスニングの練習に、最適です!



お友達、ご家族、同僚の方々など...ご紹介下さい! 問合せ・申込は当協会事務局へ!

会津若松市国際交流協会では会員を募集しています。会員の方には、情報紙FINEを毎月お送りします。
 Like what you see in these pages? Why not receive news (English information in Just The Fax) and opportunities every month as a member?
 欢迎你加入会津若松市国际交流协会。每月我们将为每位会员邮送中文或日文的信息报纸。
 아이즈와카마치시 국제교류협회에서는 회원을 모집하고 있습니다. 친구분들, 가족분들, 회사동료분들을 소개해 주시기 바랍니다.

※各事業実施に伴う写真撮影及び掲載許可について(お願い) 事務局が皆様の活動の様子を撮影し、情報紙やホームページ等に掲載する場合があります。掲載されたくない場合はお申し出ください。

日本文化体験講座 そば打ち体験講座を開催しました

11月20日(日)に外国人対象の日本文化体験講座、そば打ち体験を開催しました。6名の参加者が講師の小野修さんからじっくりそば打ちの極意を学びました。本格的なそば打ち道具を使用し、こねて伸ばして、参加者は大苦戦。一番難しかったのはやはり切り方でした。そば包丁やこま板と格闘し出来上がったそばはうどん(!?)並みの太さになってしまいました…が、味は抜群！こしもあっておいしいそばが出来上がりました。おろし大根をかけた冷たいそばと、鶏肉とごぼうときのこの温かいそば、2種類の自分しか作れない味を存分に楽しみました。そば打ち歴15年の小野さんが作ったそばは、さすが、きれいに細く切りそろっているのどごし最高！おいしいそばをごちそうさまでした！



↓左が熊さん、右が楊さん



荊州市医療研修生の送別会を開催しました

11月22日(火)に開催した荊州市医療研修生の送別会には19名が参加し、研修生の楊明明さんと熊健さんと和気あいあいとした雰囲気の中で交流を楽しみました。会の終わりに研修生はこの6ヶ月で学んだ日本語で、参加者やこれまでお世話になった皆さんにお礼と感謝の気持ちを述べました。最後はお2人の帰国後の活躍を願い、一本締め！楊先生、熊先生、また会いましょう！※熊先生が日本での生活について文章を書いてくれました。以下に掲載しますので、ぜひご覧ください！

熊 健(ショオン・ジェン)です。整形外科医です。今年の6月15日から12月10日まで、竹田総合病院で研修しています。今回は私にとって、初の来日です。もちろん会津若松市も初めてです。会津若松市の第一印象はきれいで静かです。会津若松市の方々は友好的で、幸せそうです。

私と楊(ヤン)先生は、毎朝7時半に寮を出て竹田病院に行きます。8時頃から先生たちが集まってきて、前日に来た急患のレントゲンを見ながら、お互いに意見交換し、診断漏れが極力ないようにします。それから、忙しい一日が始まります。竹田総合病院の整形外科には7人の医師がおり、それぞれが得意分野を持ち、分業かつ協同で作業を行いながら、和やかな雰囲気の中でスムーズに仕事をしています。皆さんは英語が得意で、私とは英語を共通語として交流をしています。竹田病院での勉強環境はとても素晴らしいです。医師のための図書館が用意されており、中には最先端の専門雑誌や書籍などが揃っています。電子データベースでも用意しており、いち早く最新の医学情報を入手できます。また、医師がリラックスするため、図書館には漫画本もたくさんあります。

午後5時が退社時間ですが、この時間に退社する医師はほとんどいません。手術をしているか、患者さんのカルテを整理しているか、または図書館で勉強しています。皆さんは大体6時頃に帰ります。

私は楊先生とよく夕方に阿賀川沿いまで行き、約8キロの距離をジョギングしたり、自転車に乗ったり、運動したりします。病院から出発し、運動してから寮に戻るまで大体2時間半かかります。これを続け、プラス日本の食事で、私の体重は8キロ減りました。体調はとてもいいです。

休日になると、友人が周りの名所めぐりに連れて行ってってくれました。五色沼、裏磐梯、大内宿などを訪れ、紅葉狩りもしました。すべての景色が美しく、深く印象に残りました。

時の流れは矢のごとく、あっという間に半年が過ぎてしまいました。会津での研修生活がそろそろ終わります。ここでの出来事、見たこと、聞いたことがすべて、私の今後の生活に大きな影響を与えることは間違いないでしょう。

【会津若松市と荊州市との交流について】

第2次世界大戦中、会津若松市に本部があった旧陸軍歩兵65連隊(白虎部隊)が沙市市を中心に駐屯していました。戦後、戦友会が発足し度々沙市市を訪問しながら交流を続けていたことがきっかけとなり、1985年に沙市市から会津若松市日中友好協会へ交流の申し入れがありました。そして1991年6月に会津若松市と中国の沙市(1994年に合併により荊沙市に、1996年に荊州市に名称が変更)が友好都市の関係を結び、両市の間でさまざまな交流事業が開始されました。会津若松市の医療研修生受け入れは、1997年から行われています。

【中華人民共和国湖北省荊州市について】

荊州市は湖北省の中南部に位置し、長江中流域にあります。

全面積 14,100平方キロメートル、福島県とほぼ同じ。

総人口 約640万人、うち中心都市部の人口は約75万人。

気 候 亜熱帯モンスーン気候地域に属し四季の区別がはっきりしている。年平均気温は15.9℃～16.6℃



ワールドツアーフランス編を開催しました

11月12日(土)に開催したワールドツアーには16名が参加し、フランスアルザス地方の旅を満喫しました。講師を務めたのは、会津若松市観光課に9月から11月半ばまで1ヶ月半の間、研修のため来日していたブレdez・アンヌさんです。アンヌさんの故郷、アルザス地方にはヨーロッパ最大・最古の自然のモミの木があるそうです。クリスマスの時期にはこのモミの木が美しく飾られます。伝統的なクリスマスマーケットの美しい写真と共にアルザス地方に伝わるクリスマスのお話を紹介してもらいました。下に続く「わたしのお国日和」にそのお話が詳しく書かれています。ぜひご覧ください！



わたしのお国日和 第66回

アンヌさんの故郷、フランスのアルザス地方で愛され続ける伝統行事、クリスマスのお話です。

Bredez Anne
ブレdez アンヌ さん



アルザス地方では、クリスマスは特別なシーズンです。クリスマスの期間は日本人にとってのお正月のように、フランス人にとっても大事な期間です。クリスマス前後1ヶ月ぐらい、アルザスのそこら中で(小さい村でも)クリスマスマーケットが開催されます。全ての街や家がクリスマスの飾りで飾りつけられるのです。

休みの時、家族と一緒にクリスマスマーケットによく行きます。クリスマスマーケットでは、家族や友だちのためにプレゼントやクリスマスツリーの飾りつけを探します。フランスではみんなその時期を楽しみに待っています。その時はお金のことはあまり気にせず家族や友だち、特に子どもを喜ばせるために高くても安くても大きくても小さくても多くのプレゼントを買います。その時一番大切なのは、誰かを喜ばせることなのです。

家では、家族と一緒に多くのケーキを作って食べるのが習慣です。例えば、ブレデル(bredele)、マナラ(manele)、パン・デピスなどのケーキがあります。アルザス方言でブレデルというのは小さいケーキという意味で、クッキーのように様々な形をしています。家族によってブレデルの作り方や味も違います。そして、マナラというのは小さい人形の形をしたパンです。どうしてそんな形なのか？それはサン・ニコラ(聖ニコラウス)の伝説に由来します。

サン・ニコラの伝説はこんなお話です。“むかしむかしあるところに、3人の子ども達が畑の落ち穂を拾いに行きました。あちこちに行ったので、夜になって道に迷ってしまいました。子ども達は肉屋さんにたどり着き、「肉屋さん、ここに泊まらせていただけませんか」と言いました。肉屋さんは「もちろん、どうぞ、どうぞ」と答えました。しかし、子どもたちが肉屋に入ったとたん、肉屋さんは3人の子どもをナイフで刺し殺して、細かく切って塩漬け用の容器に入れてしまったのです。7年後、サン・ニコラが肉屋さんにやって来ました。サン・ニコラが「肉屋さん、ここに泊まらせていただけませんか。」と言うと肉屋さんは「もちろん、どうぞ、どうぞ」と答えました。肉屋さんがサン・ニコラにハムやロースト肉などを勧めると、サン・ニコラは「いいえ、結構です」と答え、「私は7年間ほど塩漬け用の容器に入ったものが欲しいです」と話すのです。肉屋さんはそのとたんあつという間に逃げてしまいました。サン・ニコラは塩漬け用の容器の前に行くと「今、そこに眠っている子どもたち、私はサン・ニコラです」と言いい指を3本挙げました。すると子ども達が生き返ったのです！”それ以来サン・ニコラは子どもの守護聖人として大切にされ、この伝説を伝えるために、サン・ニコラの日には子どもの形をしたマネルという小さい人形型のパンを食べるのです。

アルザス・ロレーヌ地方ではサンニコラの日(12月6日)があり、サン・ニコラはアルザス地方ではサンタクローズの様な存在とされています。その日は、幼稚園から高校までの全ての子供がパン・デピスというスパイス風味のパンを貰います。サン・ニコラは優しい子どもにチョコレートやキャンディーをあげます。しかし、その年行いが悪かった子どもには、“鞭打ちじいさん(père Fouettard)”がやって来ます。鞭打ちじいさんは悪い子を鞭で懲らしめる想像上の人物で、アルザス地方では子どもに恐怖心を抱かせる存在です。

クリスマスシーズンになると、私の目はいつでもどこでもピカピカ輝いています。もし皆さんがアルザス地方に来る機会があれば、アルザス地方でのクリスマスのマジックに魅了されることでしょう！



※アルザス人とドイツ人にとってサン・ニコラは本当のサンタクローズ。12月25日のサンタクローズは実際には大手飲料メーカーの宣伝から生まれたもの。都市伝説によれば、サンタクローズはももとの伝承では緑の服を着ていたが、1931年に大手飲料メーカーがCM(看板)でシンボルカラーである赤い色の服を着たサンタクローズを登場させたため、赤い服のサンタクローズが広まったと言われている。